

本部長指示事項

- 昨日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部長は、8月2日（月）から8月31日（火）までの間、緊急事態措置を実施すべき区域として千葉県を公示するとともに、基本的対処方針を示した。本市における新規感染者の発表者数は、昨日(30日)まで、17日連続で前の週の同じ曜日を上回っている。昨日の発表は過去最多の206人だが、まさにここ2～3週間は加速度的に感染が拡大しており、極めて憂慮すべき事態だと考えている。
- 今月の(29日までの)新規感染者数のうち、20代と30代で感染者数の約半数を占めている。具体的な状況としては、複数の友人と一緒に食事をしたり、部屋に泊まったために感染、ドライブへ出かけ車内で長時間過ごして感染、複数の友人とカラオケをして感染した事例などが多く見受けられている。また、酒類の提供の要請に従わない飲食店での会食による感染事例も、引き続き出ている。
- 最近、感染が全国的に広がっている変異株（デルタ株）は、感染力がこれまでより強いと言われており、市内でもこれまでの株からの置き換わりが進んでいる傾向がみられることから、より念入りな感染防止策が必要である。
- 今回の緊急事態宣言の発出に伴い、飲食店における酒類提供の禁止等が要請された。各担当部署においては、それぞれ適切な対応をお願いする。
- ・市施設については、引き続き、20時以降の利用を停止することとする。各施設の感染防止対策と利用者への呼びかけを徹底してほしい。
 - また、7月17日（土）から開設している、「いなげの浜」については、他地域からの海水浴客を誘引してしまう恐れがあるため、海水浴場としての開設は中止することとする。ただし、浜を訪れる一般利用者のため、監視員による巡回等は引き続き行いつつ、「密」の回避や、安全確保に努めること。
 - なお、「稲毛海浜公園プール」については、引き続き営業するが、キャンセル・払い戻しに対応するほか、入場待機列や、プール内で「密」となっているとのご意見もあるため、「誘導員の増員」や「混雑しているプールの遊泳者の制限」を実施するなど、感染防止策を徹底すること。
- ・今回、緊急事態宣言が再発出されることにより、市内中小企業にとってはこれまでも増して厳しい経営環境が継続することになる。本市独自の一時金については、8月分も既に対象にしているが、国の支援策や県の協力金等に加え、市の経済対策を周知するなどにより、市内中小企業に各種支援策の積極的な利用を促すこと。また、市支援金について、引き続き迅速な支給に努めていくこと。

- ・教育環境においては、昨日行われた県の対策本部会議において、緊急事態宣言期間中の教育機会の確保について文書が出されている。現在、夏季休業期間中ではあるが、校外活動や部活動などの教育活動に関しては、国や県の対応方針なども踏まえ、引き続き十分な感染症対策を講じたうえで、活動が継続できるよう検討すること。
- ・感染防止の観点から、本市の職員の在宅勤務、サテライトオフィス勤務及び時差出勤を今まで以上に積極的に実施すること。

○今回の感染者の急増に伴い、特に保健所の業務がひっ迫している状況である。昨日、自宅療養者健康観察センターの運営に係る経費の補正予算が専決処分された。これにより、これまで保健所が直接行っていた自宅療養者の健康観察を外部委託することにより、保健所の業務を重点化することができるので、業務を継続できるよう準備を進めてもらいたい。また、専決処分の中では、PCR検査等の公費負担に係る経費も追加しており、金額は先ほどの健康管理センターの運営にかかる費用と合わせて12億1千万円となっている。また、保健所業務の増大に対しては、区役所をはじめ各局からの応援などにより対応を行っている。今後とも全庁一丸となってこの難局に対処すべく、協力をお願いしたい。

○ワクチン接種については、昨日時点で、国のワクチン接種記録システム（VRS）に登録された数値によると、本市の高齢者の方への1回目の接種率は、85.17%、2回目接種率は、75.40%となっており、当初目標としていた7月末までに2回目の接種を7割完了するという目標を達成した。

千葉市医師会をはじめ、ワクチン接種に関わる全ての皆様に感謝を申し上げたい。

今週26日（月）から、基礎疾患を有する方など優先接種対象者の予約受付を再開しており、来週8月2日（月）からは、59歳以下の方を含め、全ての方の予約受付を開始する。円滑な予約が進むように、御協力をお願いしたい。

○いよいよワクチン接種も現役世代・若者世代の接種へフェーズが変化してきた。

若者世代が、ワクチン接種に対して、誤った情報による誤解や、副反応への過大な不安による接種控えが増大してしまうことを危惧している。

ワクチンの有効性や安全性などについて、信頼のおける正しい情報のもとで判断していただけるよう、市民の皆様への周知・啓発をお願いする。

○また、国から示されるワクチン供給量の見通しに合わせたきめ細かい接種体制の拡充及び、働く世代が接種を受けやすい時間帯の接種枠の創設などを引き続き検討して欲しい。

○現状、感染リスクを低減させる最も有効な手段がワクチン接種であると考えている。過去の緊急事態宣言の時と比較して違うのは、ワクチン接種が進んできていることである。現在、高齢者層

は感染者数が抑えられており、ワクチン接種の効果が見られている。ワクチン接種の進展によって、今回の宣言や対策の出口がはっきり見えてくると考えている。ワクチン接種が自身を守るだけでなく、周囲の家族、友人、同僚や、接種対象ではない子どもたちを守ることにつながる。ワクチンの接種により、仮に感染したとしても、重症化しにくく、周囲にも感染を広げにくいと言われている。ワクチンの有効性や効果などへの理解を深め、是非とも市民の皆様にワクチン接種を受けていただきたいと考えている。

○最後になるが、市民の皆さまへのお願いをまとめさせていただいた。最近の感染事例では、自粛疲れの影響もあってか、マスクの着用が十分になされていないものも見受けられる。是非しっかりとマスクを着用し、こまめに手洗いをし、密な環境を避けるなど、お一人おひとりが、自身やご家族、友人のためにも、改めて感染防止策の徹底をお願いしたい。この夏は不要不急の外出をやめて、自宅で、普段生活をともにしている人とお過ごしいただくとともに、ワクチン接種の進展に伴って、緊急事態宣言の解除も見えてくると思われるので、ワクチン接種が行き渡るまでの間、基本的な感染防止対策の徹底をお願いしたい。